

平成29年度第1回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事要旨

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-------|---|--------|---|--------|---|--------|
| (1)会議名称 | 平成29年度第1回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議 | | | | | | | |
| (2)開催日時 | 平成29年7月26日 10:00~12:20 | | | | | | | |
| (3)開催場所 | 我孫子市役所 議会棟 第1委員会室 | | | | | | | |
| (4)出席者 | 委員 | | | | | | | |
| | 出 | 山内 智 | 出 | 熊田 雅弘 | 出 | 大炊 三枝子 | 出 | 福岡 正幸 |
| | 出 | 林 健一 | 欠 | 門脇 伊知郎 | 欠 | 高橋 裕子 | 出 | 山岸 由紀子 |
| | 出 | 坂巻 弘一 | 出 | 伊藤 亮一 | | | | |
| | 事務局 | | | | | | | |
| | 【企画財政部】大畑企画財政部長 【企画課】渡辺課長、相良主査長、井下田主査、滝川主査、山田主事 | | | | | | | |
| | 関係課 【農政課】丸山課長、大井課長補佐、斎藤主査長、須田主任主事 【保育課】石崎主査長 【子ども支援課】中場課長補佐、蛭原課長補佐 | | | | | | | |
| (5)議題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の流れについて 評価期間の最終到達目標について 2. 28年度の未執行事業について 3. 我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 4. 評価方法について 5. 基本目標1と基本目標3にかかる施策説明について 6. 今後のスケジュールについて | | | | | | | |
| (6)公開・非公開 | 公開 | | | | | | | |
| (7)傍聴人の数 | 0人 | | | | | | | |

(8)会議の内容

1 評価の流れについて

評価期間の最終到達目標について

事務局より資料に沿って説明を行った。

| |
|---|
| 意見等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年、一昨年は、我々専門知識を含めて全体的に広く議論をしたが、今年は1つのことに対して深掘りをしていくために、グループワーク（分科会形式）をするという認識でよいのか。（福岡委員） ■ 前回は1回で全ての事業を網羅しなければならず、かなりタイトなスケジュールでお願いしてしまった。この場で皆さんのご意見をいただく時も、施策に対するご意見を集約 |

しきれなかった。深掘りをして、さらにどのようにしていったらよいのかという具体的な方策についても皆さんからご意見をいただくことが本会議の最大の目的であると考えているため、回数を増やした。(事務局)

- 事務局が決めたグループでグループワークをするのか。(山岸委員)
- グループの構成については、事務局から案を提示させていただき、後ほど委員長による議事進行の中で委員の皆さんのご意見をいただきながら決定したい。(事務局)

2 28年度の未執行业務について

農政課より、27・28年度未執行により中間評価を実施できていない、農業拠点施設オープン後の運営状況について資料に沿って説明を行った。

意見等

- 意見、質問特になし。

3 我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

事務局より資料に沿って説明を行った。

意見等

- 「32 一時預かり利用者数」のように事業としては、保護者がより多い時間働くようになり利用者が減ったことで遅延となったが、働く保護者が増えても保育園は待機児童ゼロを維持できており、全体として見ると遅延ではないものがある。評価方法を見直した方がよいのではないかと。(福岡委員)
- 評価方法は再度見直すとともに、全体的な観点で評価していくことも必要である。(事務局)
- 「1 集団化が完了した企業数」について、銀行で働いているので、工場を建て替えたいという話をよく聞く。しかし、我孫子市には工場を建て替えられる場所がないので、困っている。市の雇用にも関わってくるので、大至急やらないといけない課題だと思う。(福岡委員)
- これまでは、NEC の中だけで工場集団化を進めてきたが、今年度は幅広く皆さんが希望している土地を提示して、より多くの企業を誘致できるよう、調査を行う。状況が分かり次第、本会議でご報告する。皆さんから何かご意見があれば、事務局から所管課へ伝える。(事務局)
- 今後のスケジュールはどうなっているのか。(熊田副委員長)
- 現在、調査委託業者のプロポーザルの準備に取り掛かっている。業者が決まれば、具体的なスケジュールが分かると思う。詳細が分かり次第、この会議でお伝えする。(事務局)

4 評価方法について

林委員長より、分科会形式で行いたい旨の提案があった。

熊田副委員長・山内委員・大炊委員・福岡委員・門脇委員⇒基本目標1、2

林委員長・高橋委員・山岸委員・坂巻委員・伊藤委員 ⇒基本目標3、4
と、委員の専門分野の特性に沿ったグループ分けをした。

| 意見等 |
|---|
| ■ 分科会に分かれたとしても、相手側の分科会のことも考えながら進めていかないといけない。また、民間・公的機関・学識者と分かれてしまっているが、問題はないのか。(熊田副委員長) |
| ■ 事務局が各分科会に入る。内容については速やかに取りまとめ、全委員にメールでお伝えし、共通認識を持てるようにする。(事務局) |
| ■ グループ分けは、まずは専門的に検討し、横串を入れるというイメージである。(林委員長) |

5 基本目標1と基本目標3にかかる施策説明について

農政課、子ども支援課、保育課より、説明を行った。

| 意見等 |
|---|
| ■ 我孫子市では保育士確保について県への要望なども行っているが、市内の保育施設が充実してきている反面、そこで働く保育士は充足していない状況なのか。(伊藤委員) |
| ■ 保育士採用に向けた事業者側の取り組みにより、現状、保育士の数は充足している。(保育課) |

6 今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて説明を行った。

| 意見等 |
|---|
| ■ 今後は、施策の目標単位で評価していく。(林委員長) |
| ■ 施策の基本目標のうち、満足度を指標としているものについては、総合計画を策定する際に実施する市民アンケートの中で確認する。(事務局) |